

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0170501308), 法人名 (有限会社レストケア), 事業所名 (グループホームびーぶる), 所在地 (札幌市南区石山東3丁目3-8), 自己評価作成日 (平成26年10月), 評価結果市町村受理日 (平成27年3月31日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・地域密着を目標にし、町内会や近隣小学校等の行事に参加している。ホームの行事や避難訓練にも多数参加して頂いている。小学校や福祉施設の子供さん達が定期的に慰問して下さっている。  
・看護師が常勤しており、身体、精神面等の健康管理を行っている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou\_detail\_2014\_022\_kani=tr ue&JigvosyoCd=0170501308-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室), 訪問調査日 (平成27年3月23日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1)ホームの設備・機能  
広々とした居間を中心とした多様な調度備品、トイレ・浴室等の利便性の高い配置がされている。四季の飾りつけや多温・湿度の管理で、居心地よい和みある場となっている。  
2)利用者本位の生活  
職員は明るく、入居者が「自宅のように」安心して過ごせるよう、見守りの姿勢で利用者本位の介護に努めている。  
3)運営推進会議  
会議は定例に開催し、事故報告・ヒヤリハットや運営状況を開示して、参加者からの意見聴取に努め、運営に反映している。  
4)利用者・家族の満足度  
職員のアウトカム評価を家族等のアンケート結果が裏付けるように、高い満足を得ている。また、事業所独自の家族アンケートを実施し、率直な気持ちをくみ取り、運営に活用している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 5 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念と各ユニット毎の理念を作成し、朝の申し送り時に読み合わせ確認を行い、共有して実践につなげている	事業所理念の他、各ユニットごとに独自理念を作成し、玄関の見やすい位置に掲示し、日常的に職員間で共有し、質の高いサービスの実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の小学校の慰問や学校行事への参加。町内行事への参加。又ホーム行事や避難訓練への参加に協力頂いている	利用者の入居前の生活が継続できるよう、地域との交流を含めて検討している。町内会行事への参加やボランティアの受け入れなどを行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の中で、町内会の方々と認知症の理解に向けて話し合いを行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動及び近況報告を行っている。参加された方々との意見交換を行い、サービスの向上に活かしている	包括支援センター・家族代表・町内会役員等が参加し、年6回を目標に定期的に開催している。会議では、運営状況、問題点を明らかにし、積極的に委員からの意見を取り入れることで、サービスの質の向上に努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市及び南区グループホーム連絡協議会へ出席し、ホームの取り組みを伝え、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には行政・地域包括支援センターの出席がある。市への状況報告、推進会議報告を通じて、地域高齢者や事業所の状況について情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し毎月勉強会を行い、拘束ゼロのケアに取り組んでいる。玄関には鍵をかけておらず、自由に出入りできる	外部研修に参加した職員による伝達研修を全体会議等の場で行い、ケアに関して問題意識を持ち職員間で検討し、身体拘束のないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設置し、毎月勉強会を行っている。常に声掛けや話し合いを行い、虐待防止に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	カンファレンスや勉強会を行い、必要性を理解し、活用できるように支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前と契約時に十分な説明を行い、理解、納得を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱を設置している。面会時にはお話を伺い、意見や要望を運営に反映させている	来訪時や電話で意見の聴取に努め、改善が必要な事例は全職員で話し合い、取り組んでいる。意見箱を設置している他、苦情相談担当者や外部苦情受付機関をわかりやすく掲示している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月全体会議を行い、意見交換を行っている。職員の提案を聞き、運営に反映させている	毎月のユニット会議と全体会議で、職員の意見を聴取する機会を設けている。随時、職員との話し合いで意見等を聞き入れ、運営に反映するよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力や実績、勤務状況を把握し各自が向上心を持って働けるように努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に参加する機会を確保している。ホーム内で定期的に勉強会を開いている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会や同主催の勉強会へ参加し、交流を通してサービスの質の向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今まで生活してきた状況や不安、困り事を傾聴し、本人の要望を取り入れ、安心した生活が送れるように信頼関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が困っている事、不安や要望を傾聴し信頼関係が築けるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の意見を尊重し必要としている支援を見極め、対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の生活スタイルを尊重しながら残存能力に合わせた作業を一緒に行い、支え合う関係を築いている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には随時近況を報告し、行事毎に案内状を送り、参加をお願いし、共に支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場所との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切な物や馴染みの物はホームに持ち込んで頂いている。面会、外出、外泊は自由にしていて、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している	利用者の行きたいと希望する店への買い物や外食へ出かけている。知人の来訪時にはお茶を勧める等、ゆっくりと過ごしてもらえるようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が楽しめるレクリエーションや行事を行い、コミュニケーションを図り支え合える関係を築ける様努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も本人や家族と関わりを持ち、相談や支援ができるように努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の希望を随時聞き入れ、可能な限り意向に応えられるよう努めている。困難な場合には本人本位に検討している	利用者との職員の関わりは、個々の目線に合わせて自然で、ケア記録を職員間で共有し、本人本位の生活が送れるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴を出来るだけ把握しその人らしい生活が出来る様努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりに声を掛け、表情を見ながら心身状態を観察し、スキンシップなどで体調の変化の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向を聞き、毎月カンファレンスを行い検討し、現状に即した介護計画を作成している	半年ごとに担当職員がアセスメントを行い、健康や身体状況に合わせて計画を作成している。計画のモニタリング、目標の達成状況などについて毎月のカンファレンス等の場で検討している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録に日々の様子やケアの実践を記録し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の要望には状況に応じて柔軟な支援とサービスに取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣小中学生の慰問や町内会行事への参加を行う事で豊かな暮らしを心身から楽しめるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を受け、訪問診療や受診を行い、適切な医療を受けられるように支援している	専門医など、利用者が希望する病院への受診に職員が同行している。必要に応じて添書を持参したり、職員、往診医、事業所の看護師にも引継ぎを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日健康チェックを行い、異常や日常生活の中での情報、気づきを看護師等に伝え、適切な指示を受けている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院と連携し、入退院は必要時相談を受けて頂いている 常に情報交換をしている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のあり方は入居時、又は早い段階で主治医、家族と方針を共有しチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応に係る指針を文書化し、早期から家族や担当医と連携し、話し合いを行っている。本人や家族の希望を尊重し、最善を尽くせるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルがあり、応急手当や初期対応の訓練や勉強会を定期的に行っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の消防訓練を行い、消防署からアドバイスを受けている。訓練には町内会の参加も頂いている。毎月自主避難訓練を行い、常にシミュレーションを行っている	避難訓練は火災想定で年2回実施。また、毎月の自主避難訓練で緊急時の避難方法・経路の確認、近隣住民との協力体制作りに努めている。その他の天災対策についても、準備が進められている。	災害時の具体的な支援方法について、事業所内で十分に検討されているが、地域協力体制の基盤をもとに、継続した連携強化の尽力に期待している。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護委員会を設置しており、毎月勉強会を行い、人格を尊重し言葉かけや対応に十分注意をしている	利用者個々の意見・尊厳を尊重し、敬意ある対応を心がけ、研修や委員会での勉強会等の場で共有・理解に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望や思いを大切に、自己決定出来る様に働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し楽しく暮らせるよう希望に添って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の好みを尊重し、希望に添う様支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの嗜好を取り入れ、楽しく食事が出来る様に、一緒に準備や後片付けをしている	準備から後片付けまで、個々の利用者に出来る範囲で手伝ってもらい、日々の楽しみとしている。また調理方法、嗜好等の要望も取り入れ、職員が献立作りをしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス、水分量は毎日チェックしている。病状に合わせた調理方法や盛り付けを工夫している			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、各自の状態に応じた口腔ケアを行っている。本人の力に応じ介助している			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、習慣を活かしながら本人の行動によって排泄できるように声掛け、誘導している	排泄チェック表により排泄パターンを把握している。サインを見逃さないよう日頃から意識し、声かけに工夫することで出来るだけ自力で行えるよう見守り、支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の及ぼす影響を理解しており、飲食物の工夫や水分量の調整、運動や腹部マッサージを行い、予防に取り組んでいる			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の身体状況に合わせて、入浴方法を工夫している。曜日や時間帯は決めておらず、いつでも入浴できるようにしている	週2、3回を目標に、一人ひとりの希望や生活習慣に応じ、入浴がゆっくと楽しめるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	使い慣れた寝具を使用し、照明も考慮し、安眠できる環境作りを工夫している。定期的に布団の殺菌乾燥も行っている			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬の内容や副作用について理解している。服薬の支援と症状の変化の確認に努め、速やかに対応している			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を把握し、力を活かした役割をお願いしている。毎日のレクリエーションで楽しめる事を提供し気分転換の支援をしている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望を取り入れ、支援している。散歩、外出、買い物、ドライブに出かけている。家族や地域の方の協力を得て、外出することもある	外気浴や散歩、ドライブといった外出機会を多く持つよう努めている。また、個々の入居者の希望に沿って日常の買い物、用足し等を職員が支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の管理能力において、自己管理して頂いている。家族にも説明、報告を行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や本人の希望で自由にやり取りができるように配慮している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部にテレビや絵画があり、写真や季節の花、レクリエーション作品を飾り、居心地良く過ごせるよう工夫している。いつでも好きな音楽が聞ける様準備している	共用空間は採光もよく、清潔に保たれている。利用者が好きな場所で過ごし、それを見守ることで、自宅のような居心地のよい環境を作り出している。リビングの飾りは、入居者の作品や、季節感に配慮されたものとなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部にあるソファで利用者同士が談笑されたり、一人掛けの椅子を設置し、思い思いに過ごせるようにしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や身の回りの物を持参し、好みの物に囲まれて居心地良く過ごせるように工夫している	居室は、使い慣れた馴染みのものを自由に持ち込むことで、環境変化によるストレスが軽減出来るよう配慮されている。また、温・湿度の管理がなされ、居心地よい空間作りの為の工夫に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーとなっており、安全に生活出来る様にしている。随所に手すりを取り付け、転倒防止に努めている		